

2016年11月1日(火)山形新聞に掲載！！

ヤマユリの球根 遊歩道脇に植栽

庄内・清川の御殿林

最上川・陸羽西線活性化委員会(高橋茂会長)によるヤマユリの植栽事業が23日、庄内町清川の御殿林で行われ、参加者が白く香りの強い花を咲かせるヤマユ



リの球根50個を緑豊かな遊歩道脇に植え付けた。写真。

同委員会とは同町や戸沢村の有志らで組織、最上川や陸羽西線沿線の活性化に取り組みしており、やまがた社会貢献基金を活用して植栽を企画。同委員会の活動を支援するNPO法人「元気

・まちネット」(東京都)の矢口正武代表理事(69)も参加した。

参加者6人は、戊辰(ぼしん)戦争時に庄内藩が陣を敷いた御殿林に、目印の細長い竹を地面に挿しながら球根を埋めていった。夏ごろに開花するため、涼しい川風を受けて花をめでのがらの散策が来夏から楽しめる。矢口代表理事は、源義経や松尾芭蕉、清河八郎らに代表される最上峡の歴史物語を挙げ「戸沢と庄内には舟下りや歴史上の人物を通して形成された魅力がある。景観整備などに力を入れ、観光活性化につなげていきたい」と話していた。